

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【公開番号】特開2011-30230(P2011-30230A)

【公開日】平成23年2月10日(2011.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-006

【出願番号】特願2010-180290(P2010-180290)

【国際特許分類】

H 04 W 36/02 (2009.01)

H 04 W 4/06 (2009.01)

H 04 L 1/00 (2006.01)

H 04 L 1/22 (2006.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 3 0 3

H 04 Q 7/00 1 2 5

H 04 L 1/00 B

H 04 L 1/22

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月12日(2011.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

条件が満足されるまで情報ブロックを累積する受信バッファと、

ここで系列番号は各情報ブロックが属する外部符号ブロック、及びその外部符号ブロック内の各情報ブロックの位置を識別し、

順不同で受信されるあらゆる情報ブロックを再順序付けするために各情報ブロックにおける系列番号を利用する再順序付けユニットと、及び

一旦情報ブロックが再順序付けされると、各情報ブロックにおける系列番号を利用して、重複情報ブロックを検出し、かつあらゆる重複情報ブロックを除外する重複検知ユニットとを具備し、

条件が或る外部符号ブロックについて満足されると、重複検知ユニットは抹消による巡回冗長度検査を通らないあらゆる情報ブロックを置換し、且つ外部復号を始める要求を生成する目的局。

【請求項2】

条件は全体の外部符号ブロックが受取られることである、請求項1記載の目的局。

【請求項3】

条件は外部符号ブロックについてもはや再伝送がないことである、請求項1記載の目的局。

【請求項4】

外部符号ブロックの各情報ブロックから系列番号を除く系列番号除去ユニットと、及び

外部符号ブロックが無線回線制御層に到達する前に外部符号ブロックを受取り、必要であれば、任意の誤り情報または欠落情報を再生成する外部復号器とをさらに具備する、請求項1記載の目的局。

【請求項 5】

ユ-ザ-情報の行を再構成するために情報ブロック及び長さ指標を使用する再構築ユニットと、及び

ユ-ザ-情報の行を高位層へ配達するために無線担体上でユ-ザ-情報の行を伝送する送信バッファとを具備する、請求項 4 記載の目的局。

【請求項 6】

以前に受取られた情報ブロックが復号化の間に情報ブロックの連続受信を可能にするため復号されつつあるとき受信バッファは受信されつつある他の入来情報ブロックを記憶する、請求項 4 記載の目的局。

【請求項 7】

再順序付けユニットは第一及び第二の論理ストリームの間の時間オフセットによって復号化を遅らせ、復号化が開始される前に受取られる二つの外部符号ブロックを待つ、請求項 1 記載の目的局。

【請求項 8】

受信バッファは情報ブロックの複数の行を含む外部符号ブロックを受取り、行情報ブロックは各々少なくともユ-ザ-情報の行の一部を含み、情報ブロックの各行のサイズは固定されており、且一つの伝送時間間隔（TTI）を占有する、請求項 1 記載の目的局。

【請求項 9】

外部復号器は情報ブロック及び長さ指標を含む完全な符号器パケットを生成するために冗長情報の行を使用して外部符号ブロックを復号し、情報ブロックは誤りがない、請求項 4 記載の目的局。

【請求項 10】

再構築ユニットはユ-ザ-情報のどの行がその情報ブロックによって占有される外部符号ブロック行内で終わり、且つ情報ブロックをユ-ザ-情報の行に分割するかを決定するために各情報ブロックにおいて少なくとも一つの長さ指標を使用する、請求項 5 記載の目的局。

【請求項 11】

受信バッファは情報ブロックの複数の行を含む外部符号ブロックを受取り、行情報ブロックは各々ユ-ザ-情報の行の少なくとも一部を含み、情報ブロックの各行のサイズは可変であり、且つユ-ザ-情報の行は完全に情報ブロックの複数の行を占有する、請求項 1 記載の目的局。